

# 在宅酸素療法時の火気取扱いにご注意ください

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、在宅酸素療法を行う自宅療養者が増加しています。

## 在宅酸素療法とは

酸素濃縮装置、液化酸素装置及び酸素ポンプを使用し、室内空気より高い濃度の酸素を自宅で吸入することです。

### ⚠️ 危険 ⚠️

酸素は、燃焼を助長させる性質が強い気体であり、火を近づけると非常に危険です！！在宅療法時に、喫煙等火気の使用が原因と考えられる火災が全国的に発生していますので在宅酸素療法時には、火気の手扱いに十分注意してください。

## 在宅酸素療法時の火気に関する注意事項

1. 高濃度の酸素を吸入中に、たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服に引火し、重度の火傷や住宅火災の原因となります。
2. 酸素濃縮装置等の使用中は、装置の周囲 2 m以内には、火気を置かないで下さい。  
**特に酸素吸入中には、たばこを絶対に吸わないで下さい。**
3. 火気の手扱いに注意し、取扱説明書通りに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはありませんので、過度に恐れることはなく、医師の指示通りに酸素を吸入してください。



厚生労働省 HP 引用

[「在宅酸素療法時は、たばこ等の火気の手扱いにご注意下さい。」\(PDF : 311KB\)](#)